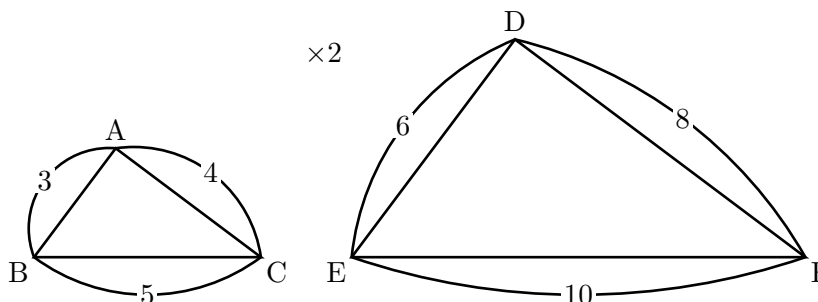


相似

まず相似とは何かというと、ある図形を一定の割合で拡大、または縮小した図形ともとの図形のことを言います。拡大とは、形を変えずに大きくすることで、縮小とは形を変えずに小さくすることを言います。下の図のような $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は相似な関係にあるといます。なぜなら、 $\triangle DEF$ は $\triangle ABC$ の 2 倍の拡大図になっているからです。



このとき、対応する辺（線分）の比はみな等しくなっています。

$$AB : DE = 3 : 6 = 1 : 2$$

$$BC : EF = 5 : 10 = 1 : 2$$

$$CA : FD = 4 : 8 = 1 : 2$$

この対応する辺の比のことを相似比と言います。このように、相似比は対応する辺において、一定です。

また、形は変わっていないわけですから、対応する角の大きさはみな等しくなっています。

$$\angle A = \angle D$$

$$\angle B = \angle E$$

$$\angle C = \angle F$$

ここまでをまとめると、

相似な図形の性質
対応する辺（線分）の比はすべて等しい
対応する角の大きさはそれぞれ等しい

そして上の相似な図形の間を、合同と同じように記号（読み方は相似）を使って表すと、

$$\triangle ABC \sim \triangle DEF$$

と表すことができます。書き方は合同な図形の表し方と同じで、対応する頂点をそろえて書きます。

最後に余談ではありますが、相似比が $1 : 1$ の場合の図形の間は、合同な関係になります。

お粗末でした。勉強の参考にしてください。